

## JR中央線飯田橋駅ホームにおける抜本的な安全対策の着手について

JR東日本では、お客さまに安全に駅をご利用いただくために、ホーム上での列車との接触や線路への転落について、ホームにおける安全対策を進めています。

中央線飯田橋駅において、これまで列車とホームの隙間が一部大きくなっていましたが、抜本的に解消する安全対策に着手し、お客さまが、より安全に、より快適に駅をご利用いただけるよう目指してまいります。

○ホームを西側(新宿方)に約200m移設し、直線化します。

○これに合わせて、西口駅舎の改良、駅前広場整備を行います。

### 1 抜本的な安全対策の概要

現在の飯田橋駅のホームは急曲線区間(曲線半径 R=300m)にあり、列車とホームの隙間が大きくなっています。

これまでは、転落検知マットや注意喚起の回転灯、放送設備等を設置してお客さまの転落の対策を行ってまいりました。

今回の安全対策では、ホームを西側の直線区間に約200m移設し、大きな隙間を抜本的に解消します。

### 2 西口駅舎改良・駅前広場整備の概要

ホーム移設にあわせ西口駅舎を建て替えます。また、駅舎建替えに合わせて小規模な店舗を計画するとともに、千代田区と連携し駅前広場(約1,000㎡)を整備します。

### 3 今後のスケジュール

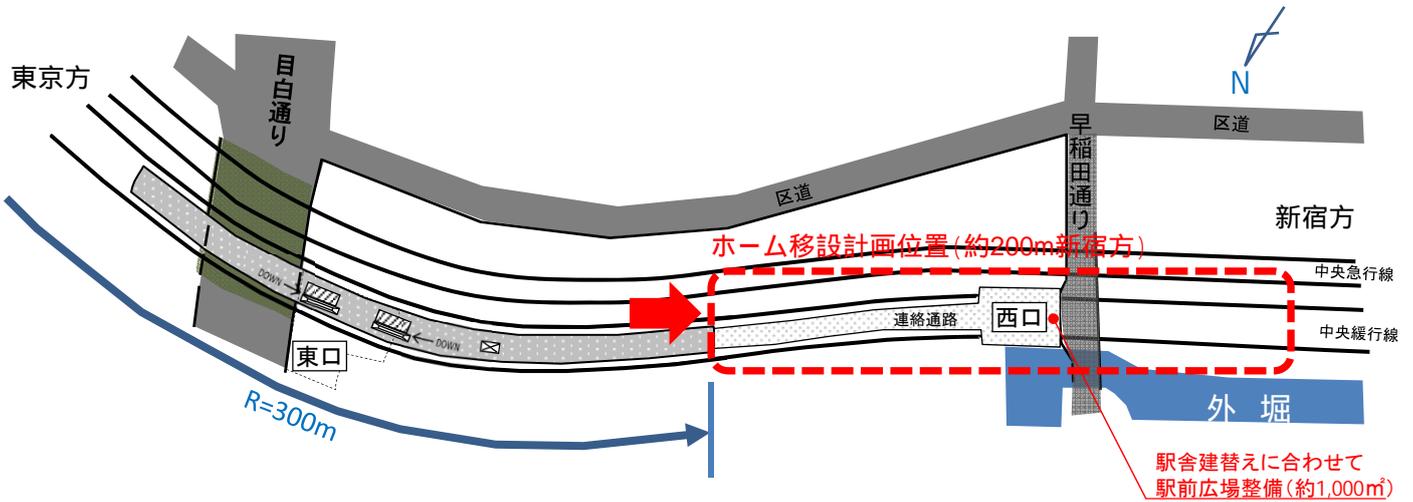
本年度より基本設計に着手し、早期の工事着手を目指します。

### 4 その他

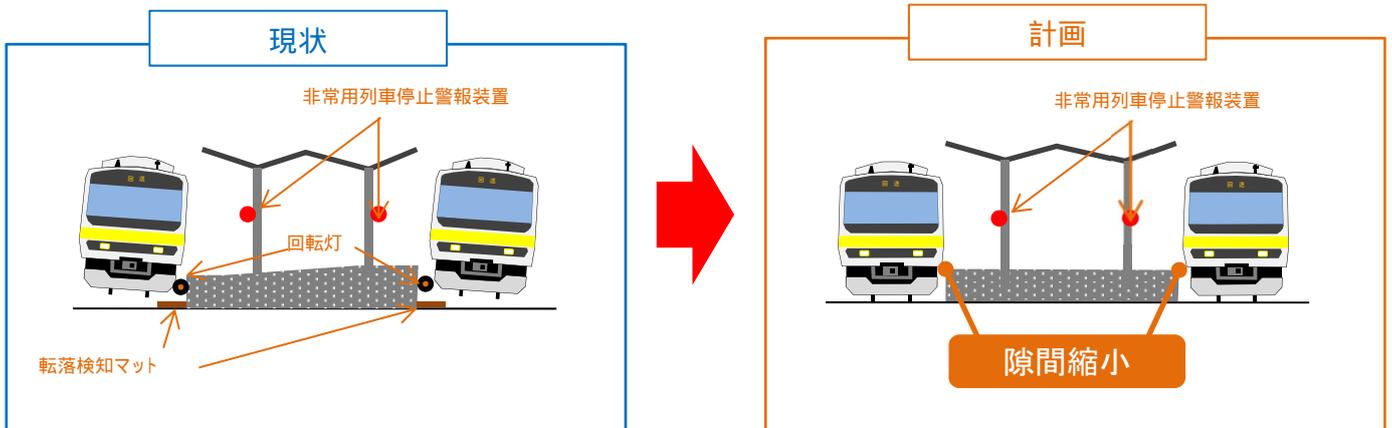
ホーム移設を計画する範囲の一部は史跡区域(江戸城外堀跡)に指定されています。そこで、今回、第三者の有識者で構成する委員会を開催し、文化財に配慮した計画となるよう検討を進めていきます。

# 飯田橋駅ホーム安全対策の概要

【平面イメージ図】



【ホーム断面イメージ図】



【参考:ホームの現状】



新宿方からホームを望む



ホームと車両(扉)との隙間状況